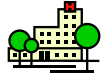




IRIS療法を受けられる方へ

●IRIS療法は、ティーエスワン®(飲み薬)と イリノテカン®(点滴)の2剤を組み合わせた大腸がんに対する治療法です。

投与スケジュール

ティーエスワン®内服(14日間)		休薬期間(14日間)	
1日目	2日目以降	15日目	
イリノテカン®  点滴	ティーエスワン®内服 (朝・夕食後1日2回) 	イリノテカン®  点滴	
← 1コース(4週間) →			

4週間を1コースとして繰り返します。

主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。
※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

治療当日～数日	●下痢(早発性) ●疲労	●吐き気・嘔吐 ●発汗・鼻汁	●食欲不振
治療数日～数週間	●口内炎 ●白血球減少	●下痢(遅発性) ●貧血	●皮疹 ●血小板減少
数週間～数ヶ月	●手足症候群	●色素沈着	●流涙(涙目)

◇下痢

イリノテカンの副作用による下痢には、投与後24時間以内に現れる『早発性』の下痢と、数日～2週間後に現れてくる『遅発性』の下痢の2種類があります。
1日4回以上の排便や水様便がみられた場合はすぐに受診してください。
下痢がある場合は乳酸菌食品の摂取を控えるようにしましょう。
水分をこまめに摂り、温かくして安静に過ごしましょう。

◇吐き気、嘔吐、食欲不振

なるべく水分をとるようにし、消化の良いものや食べたいものを少量ずつ食べるようにしましょう。

◇口内炎：口の中が痛い、しみる、味がおかしい

頬の内側の粘膜や歯ぐきに口内炎ができることがあります。口の中の痛みにより食事がとれないこともあります。うがいをこまめに行い、口の中を清潔に保つようにしましょう。

◇皮疹

全身に皮疹が出たりかゆみを伴う場合にはティーエスワンの服用を中止して早めに来院してください。

◇白血球減少：発熱、寒気、咳、のどの痛み、頭痛

38℃以上の発熱がみられた場合はすぐに受診してください。

白血球が減少すると体の抵抗力が弱まり、風邪や肺炎などの感染症にかかりやすくなります。外出時はマスクを着用し、人混みを避けましょう。手洗い、うがいをこまめにしましょう。

◇血小板減少：血が出やすい、アザができる

血小板が減少すると血が止まりにくくなります。ケガや転倒には十分注意し、歯磨きや鼻をかむときは優しく行いましょう。

◇貧血：めまい、息切れ、疲労

ヘモグロビンが減少すると、貧血症状(めまいなど)が起こりやすくなります。激しい運動は控え、疲れを感じたら無理をせず休むようにしましょう。

◇流涙：涙目、涙が出る

結膜炎や角膜炎が起こっている場合もありますので、目が痛い・かすむ、ものが見えにくいなどの症状がある場合はすぐに受診してください。